

2の人を尋ねて

㈱アスペックス 代表取締役社長

辻 康 孝 氏

ASPサービスの專業ベンダーとして、人材派遣会社向けの総合管理システムなどが活発に推移している。「黒字体質となり配当も果たした。ASP專業としては成功した会社と見ていいのではないか」と胸を張る。中でも派遣者の勤怠管理を行う「デジシート」は、「多くの引き合いがあり新規

の顧客も付いてきた」とうれしそうだ。設立時の2000年は、「ASPがもてはやされたが、ユーザーの意識とIT基盤がまだ整っていなかった」と振り返る。今は時代がASP・Saasにマッチしてきたのだ。

IT業界へは「ソフトウェアという新たなビジネスに興味を持った」ことで、CSKに入社した。経営戦略室に

新規事業の開拓など営業力を発揮



59年生れ、長野県出身（49歳）。82年東京外国語大学ドイツ語科卒、現CSKホールディングス入社、92年現ビーコンインフォメーションテクノロジー入社、04年常務執行役員（現任）、05年アスペックス社長に就任。

配属、その後国際戦略室ができて新規事業に携わった。「通信機器や半導体チップなど本業ではない分野だが楽しかった」という。

IT業界を一旦離れたが、「ドイツに行く」との思いからソフトウェア・エンジニア・オブ・ファアイースト（現ビーコンIT）に入社した。ここでも主力製品ではなく通信ソフト「ネットパス」や、イメールファイリングシステム「アークパワー」などの立ち上げをまかされ、成果を収めていった。その後、OLAPソリューション「タイムキューブ」、そしてETLツール「WAHA!」の営業を統括することに。

最初の道筋を付けるには「販売後のサポートが非常に重要」という。この頃にビーコンITが温めていたASPビジネスを実現すべくアスペックスが設立された。

忙殺された日々を送る中、「週末には犬を連れて妻と近所を散歩するのが息抜きになっている」とうた。趣味の絵画は時間がなく休筆中だが「引退したら世界を巡りながら絵を描いて過したい」との思いを持つ。